

西スーダンの地域社会・市場と政治権力

南山大学 人文学部 坂井 信三

1. ニジェール川中流域の生態学的条件と生業・職能の分化

植民地化以前の西アフリカ内陸の経済については、生態学的な一様性、少人口分散型の社会形態などを理由に、都市の発生と農産物の商品化の契機が欠けており、商業の展開が遅れたことが指摘されてきた[Hopkins 1973]。

だがニジェール川中流域では、乾期/雨期の交替と大河の氾濫による多様な生態学的条件に適応して、民族集団レベルで農耕、牧畜、漁労などの生業分化が成立し、早くから都市的クラスターが出現していた。サバンナを縦貫するニジェール川は、北のサハラと南の森林を媒介する交通手段ともなった。このような条件のもとで、ニジェール川中流域は内陸西スーダンの中核として成長した[Gallais 1984, McIntosh 1998]。

かつてのマリの版図にほぼ対応する地域には、独特の慣行をもつクラン・システムと、専門化した手工芸職人の職能分化が見られる。これらの制度はおそらく 13 世紀ごろまでにマリの政治的統合のもとで成立し、周辺に広がっていったものと考えられる[Tamari 1991]。遠距離交易に従事する商人も、生業分化した民族集団や専門職人集団に擬せられるような特殊化した集団をなしていた。

以下では、このような生態学的・社会的・歴史的背景をもつ西スーダンを舞台に、植民地化に先立つ 17~19 世紀ごろを対象に、地域社会の構成と市場、政治権力の相互間関係を考えてみる。

2. 三層の交換システム

物資の交換は、三つの層をなしたシステムとして整理できる。

「ソースの市」：局地的な交換。地域社会の生業分化を背景とする、生鮮食品の日常的な交換で、商業的な性格はない。

定期市：地域内交換。地域の中心都市で開催される週市で、保存食品、衣類などの消費財、生活・生業用具などの耐久消費財が、通貨を介して取り引きされる。地域の生産者にくわえて、専門職人、行商人が参加する。

交易都市：地域間・地域外交換。生態学的ゾーンの境界、水上交通の要衝に位置する。交易商人が常設店舗を構える遠距離交易の中継地。支払いには延べ払い、委託販売などの制度が導入されていた。

これら三層の交換システムは、それぞれの特性をもちつつ矛盾なく接合していたように思われる。

3. 地域社会の編成原理と市場

それに対して、地域社会の政治的権威と、それを越える政治的統合を作り出す王権とのあいだには構造的な断絶があったように思われる。

類型化していえば、地域社会は「土地の精霊」を祀る首長 = 「土地の主」の儀礼的権威を中心に、多様な住民に土地の用益権を配分する制度によって編成されていた。土地の生産力そのものは「土地の精霊」として表象され、首長の管理下にはおかれていなかった。祭司的首長は住民から土地の産物の儀礼的贈与を受け、諸集団間の紛争の調停をする。しかし軍事力の動員権、租税の徴収権、法廷の主権などはなく、「神聖王権」に成長していくことはなかった。

他方、定期市の開設権は「土地の主」 = 祭司的首長の固有の権限に含まれていた。市場は多様な生業、職能に分化した人々が生産物を交換する場であり、市場の精霊の祭祀をとおして交換の場の秩序を維持するのは、祭司的首長の固有の機能だった。国家的統合のなかに包摂された地域社会でも、市場の精霊の祭祀は「土地の主」の固有の機能だった。

ジェンネ、シンサニなどの重要な交易都市の市場も、原理的に地域社会の祭司的首長権のもとにおかれており、王権には従属していなかった[Monteil 1932, Roberts 1987]。

4. 王権の外部性

これに対して地域社会を越える王権は、地域社会に対しても、交易に対しても外部的な権力にとどまっていた。

西スーダンの王権は、祭司的首長から連続的に発展した「神聖王権」ではない。それは土地という生産手段の支配の上に成り立っているのではなく、軍事力という「破壊手段」の独占によって成立する[Goody 1971]。農民を略奪する武装した戦士の小集団が、政治的統一を欠いて略奪の危険にさらされた農民のあいだに入り込んで、保護と仲裁の機能を請け負うかわりに王になるというパターンがよく見られる[Meillassoux 1986]。もっとも農民は、戦士階級を再生産する社会層でもある。しかし農民社会のなかから戦士権力が成長する場合でも、それが王権に転化するには地域社会から断絶することが必要だったことがわかる[Monteil 1924]。

戦士王権は「破壊手段」(武器、馬など)の入手のために遠距離交易商人に依存しており、反対に戦士の唯一の支払い手段である奴隷は、商人にとって商品として、かつ資本として不可欠だった[Bazin 1975, 1982]。だから商人と戦士は相互に依存していたが、戦士は商人にとって顧客であると同時に略奪者でもあった[川田 1977, Aubin 1982]。このように戦士と商人は矛盾をはらんだ相互依存関係にあり、ギニア湾岸の諸社会のように王権と商業が一体化することはなかった。

地域社会と交易に対する王権のこのような外部性は、王の禁忌にはっきり表明されている。王は地域社会の市場に立ち入ることを許されず、交易都市は王権による支配に対してつねに一定の自律性を主張していた。

5. 19世紀の変動

生産と交易に対する政治権力のこのような逆説的なかかわり方は、19世紀までの西スーダ

ンの社会の大きな特徴だった。歴史的に言えばそれは、地域社会の内在的成長が国家の形成につながるよりも前に、地域外に連なる遠距離交易の働きかけによって広域の国家が成長したという経緯と関係があろう。とくに 17 世紀以降は、ヨーロッパ世界システムとの接触をとおして外部交易における奴隷の重要性の増したことが、戦士権力の奇形的な成長を促したともいえよう。

だが 19 世紀は西スーダンにとって大変動の時代だった。全体的に言えば、非イスラーム的な傾向の強かった戦士王権が弱体化し、一連のジハードによって各地にイスラーム国家が成立する。この現象は、経済と政治の構造的断絶を乗り越えようとする運動だったと解釈することができる。一連のフルベ-トゥクロールのジハード運動[Robinson 1985]や、ジハードの形を取ったサモリの国家建設運動[Person 1968-75]によって、地域社会から国家まで一貫した権力によって組織された社会がはじめて出現してくる。それと並行して、交易商人が、イスラーム化によって宗教的意義を奪われた土地で、奴隷使役によって市場向け商品を生産する企業家的な商人へと性格を変えていく様子が見えてくる。

だがこうした変動が新たな社会編成のかたちを生み出す前に、英仏による植民地平定によって西スーダンの諸社会は分断され、社会のダイナミズムはヨーロッパ世界システムの圧倒的な力のもとに服することになったのである。

文献

- Aubin, Catherine 1982 Croissance économique et violence dans la zone soudanaise, du XVIIe au XIXe siècle, in Bazin, J. and E. Terray (eds.), *Guerres de lignages et guerres d'État en Afrique*, Éditions des Archives Contemporaines.
- Bazin, Jean 1975 Guerre et servitude à Segou, in Claude Meillassoux (ed.), *Esclavage en Afrique précoloniale*, Francois Maspero.
- 1982 État guerrier et guerres d'État, in Jean Bazin and Emmanuel Terray (eds.), *Guerres de lignages et guerres d'États en Afrique*, Éditions des Archives Contemporaines.
- Hopkins, A. G. 1973 *An Economic History of West Africa*, Longman.
- Gallais, Jean 1984 *Hommes du Sahel*, Flammarion.
- Goody, Jack 1971 *Technology, Tradition and the State in Africa*, Cambridge University Press.
- McIntosh, R. J. 1998 *The peoples of the Middle Niger*, Blackwell.
- Meillassoux, Claude 1986 *L'Anthropologie de l'esclavage*, PUF.
- Monteil, Charles 1924 *Les Bambara du Segou et du Kaarta : Étude historique, ethnologique, et littéraire d'une peuple du Soudan français*, G.-P. Maisonneuve et Larose.
- 1932 *Une cite soudanaise, Djenne : Métropole du Delta central du Niger*, Anthropos.
- 川田順造 1977 「生産手段と破壊手段」、『民族学研究』42(1)。
- Roberts, Richard 1987 *Warriors, Merchants, and Slaves; the State and the Economy in the Middle Niger Valley, 1700-1914*, Stanford University Press.
- Robinson, David 1985 *Holy War of Umar Tal*, Clarendon Press.
- 坂井信三 1999 「西アフリカの王権と市場」佐藤次高、岸本美緒編『市場の地域史』山川

出版社。

Tamari, Tal 1991 The Development of Caste Systems in West Africa, *JAH* 32.